

Title	大阪大学歯学雑誌 第67巻1号 目次
Author(s)	
Citation	大阪大学歯学雑誌. 2023, 67(1)
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/93198
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

大阪大学歯学雑誌

The Journal of Osaka University Dental Society

January 2023 Vol.**67** No.**1**

大阪大学歯学会

The Osaka University Dental Society
OSAKA JAPAN

大阪大学歯学雑誌

Vol. 67 No. 1 Contents

規 定

- 2022 年度 大阪大学歯学会 優秀研究奨励賞 規定
2022 年度 大阪大学歯学会 優秀海外発表大学院生奨励賞 公募要項

総 説

- 口腔および胃・十二指腸組織への *Helicobacter pylori* 定着に対する
Streptococcus mutans の影響 ————— 門 田 珠 実 (他 5 名) 1
小児の睡眠時ブラキシズムにおけるリズム性咀嚼筋活動の睡眠周期に関連した
発生様態の解明 ————— 白 石 優 季 (他 2 名) 5

原 著

- 歯科開業医における口腔機能低下症・オーラルフレイルの認知度と口腔機能検査の実施状況
～堺市内の歯科クリニックを対象とした質問票による調査～ ————— 小 倉 孝 文 (他 2 名) 9

症例報告

- 右側上顎洞内多発遊離骨片の 1 例 ————— 樋 口 将 隆 (他 5 名) 15
著しいオーバージェットならびに上下顎歯列に叢生を伴う骨格性 2 級 Angle II 級 1 類の一治験例
————— 岡 本 圭 子 21

Information

- | | | | |
|-------------------------|----|---------------------------------|----|
| 会務報告 ————— | 27 | 教室研究紹介 | |
| 大阪大学歯学会会則 ————— | 33 | 大阪大学大学院歯学研究科
生化学教室 ————— | 39 |
| デジタルデータ出稿の詳細 ————— | 36 | 大阪大学大学院歯学研究科
口腔外科学第一教室 ————— | 41 |
| 引用文献の表記ルール ————— | 36 | | |
| 歯学会雑誌原稿投稿時のセルフチェックシート — | 37 | | |
| 誓 約 書 ————— | 38 | | |

表紙のことば

本図は、骨格幹細胞とその子孫細胞に特異的に緑色蛍光を発現するマウス (Runx2-cre; ZsGreen) の下肢です。左上は実体顕微鏡写真、右上は蛍光実体顕微鏡写真、下段は組織切片の蛍光顕微鏡写真です。当教室では、cre-loxp システムにより骨髄内の骨格幹細胞に GNAS 遺伝子変異を導入し、線維性骨異形成症のマウスモデル作製とその病態解明を目指しています。
(口腔病理学教室)

規 定

2022 年度 大阪大学歯学会 優秀研究奨励賞 規定

2022 年度 大阪大学歯学会 優秀海外発表大学院生奨励賞 公募要項

総 説

- 口腔顔面領域の神経障害性疼痛の緩和に対するドパミン神経系の関与 ————— 前 川 博 治 (他 1 名) 1
- 歯髄幹細胞の脈管形成能における VE-cadherin の役割 ————— 佐々木 淳 一 (他 1 名) 5
- 臼歯部遊離端欠損のインプラントが
欠損に隣接する歯の喪失に与える影響の検討 ————— 八 田 昂 大 (他 4 名) 9
- 成長板軟骨の成長に関わる Wnt シグナル反応軟骨前駆細胞の解析 ————— 宇佐美 悠 11
- 口唇裂・口蓋裂の総合的一貫治療を考える
—治療への取り組みと今後の展望— ————— 田 中 晋 17

原 著

- 関節軟骨細胞における GDF5 の役割の解明 ————— 大 川 真 季 23

症例報告

- 口蓋垂癌と舌癌が重複して発生した 1 例 ————— 和 田 剛 信 (他 5 名) 41
- Orthodontic management of a patient who underwent anti-cancer therapy
for acute myelogenous leukemia: A case report ————— Naoki Yoshida (他 4 名) 47
- 内側翼突筋に進展し開口障害をきたした小児の下顎骨類腱線維腫の 1 例 ————— 松 賀 ひとみ (他 8 名) 55
- 下顎下縁平面の急傾斜を伴う骨格性開咬カムフラージュ症例 ————— 原 口 誠 自 (他 1 名) 61
- 矯正歯科治療後に ICR を発症し再治療を行った 1 治験例 ————— 岡 由 佳 (他 2 名) 67
- 一次的整復固定が行われなかった上顎の外傷性嵌入側切歯に
歯科矯正学的牽引を施した一治験例 ————— 社 浩太郎 73

Information

- | | |
|----------------------------|------------------|
| 会務報告 ————— 79 | 教室研究紹介 |
| 大阪大学歯学会会則 ————— 87 | 大阪大学大学院歯学研究科 |
| デジタルデータ出稿の詳細 ————— 90 | 口腔治療学教室 ————— 93 |
| 引用文献の表記ルール ————— 90 | 大阪大学大学院歯学研究科 |
| 歯学会雑誌原稿投稿時のセルフチェックシート — 91 | 口腔生理学教室 ————— 95 |
| 誓 約 書 ————— 92 | |